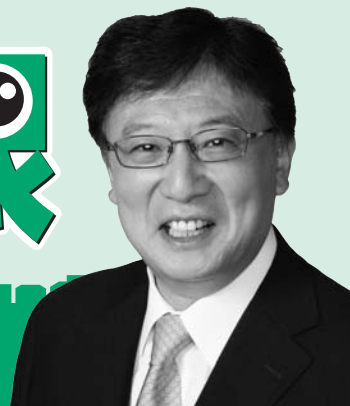


ながせひでき 永瀬秀樹の

川口まちづくり活動レポート

歩く眼



創刊2号 2011.4.1

討議資料

川口の新しい【かたち】 川口の新しい【都市づくり】

新しい議員として私には夢があります。これからの「川口の新しいまちづくり」を進めることです。「住んで良し、訪ねて良しのまちづくり」これが私のビジョンです。

住んで良しのまちづくり

1. 世代ごとの居場所づくり

まだまだ生き生きと交流する場所が足りません。ソフト(コミュニティ、サークル)を実行するためのハード(施設)づくりが大切です。

①子育て支援施設の拡充

ばら撒きではなく、必要なところに必要な支援を重点的かつ効果的にしていきます。

- ▶ 保育所の増設 多くの待機児童がいます。(平成21年4月現在123人)
- ▶ 子育てサポートプラザを拡充させます。
- ▶ 児童センターが南平、芝、戸塚にしかありません。中央地区に総合施設の建設を急ぎます。
- ▶ 制度の拡充。

中学生医療費無料化の実現をはかります。



②高齢者向け施設の拡充

たたら荘などの改築

教養の向上、レクリエーション活動の変化などにより、多くのお年寄りの方に楽しんでいただける施設が足りません。近未来の社会の変化も考慮し、都市計画を進めます。

▶ 川口市の65歳以上人口

平成10年 47,608人(10,4%)

平成21年 89,515人(17,4%)

平成32年 推計人口129,792人(25,8%)

③町会会館、コミュニティセンターの改修、活用

まちの人々の憩いの場をどう作るか、多くの皆様の声を聞きながら、低予算で充実したものを計画、提言していきます。

2. 災害に強いまちづくり

震災の経験を生かした災害に強いまちづくりを進めます。都市防災の向上に向け、防災空間の確保や、災害時における避難所としての小学校、中学校、公園や公共施設を整備充実します。

3. 川口駅通勤混雑の緩和

もうひとつ『住みやすいまちづくり』のための喫緊の大きな課題として、川口駅の通勤時混雑の緩和を図ることが急務です。

自らラッシュにもまれながら通勤したサラリーマンだった一人として、切迫感を持って改善を図りたいと思います。少なくとも、電車が駅に到着しても人がろくに乗り込むことのできない今の状態。ひとたびトラブルが起きると多数の通勤難民が発生してしまう今の状態。これは一刻も早く解消しなければならない問題です。このことは、もちろん政治だけで解決できる問題ではありませんが、市と市民と、国と県、そしてJRが一丸となって取り組み、大きな輪を創出します。

- ▶ 湘南新宿ラインの停車
- ▶ 駅舎の改築、改札口の増設
- ▶ 川口駅始発電車の検討
- ▶ 川口元郷駅とのアクセスの整備
- ▶ 川口市西部への、新たな交通機関の導入などに積極的に取り組んでいきます。

訪ねてよしのまちづくり

川口経済の活性化と、市民意識の高揚で「東京に近くて便利だから住む」ではなく、「永くこのまちに住み続けたい」との定住意欲を高めることが大切です。市民の心のよりどころとなり、市外からもたくさん人を集めることのできる「魅力ある観光まちづくり」を進めていきます。そのために、

●観光の目玉となる中心市街地をデザインします。

本町通り地区の町並み再生、銀座通り、ふじの市商店街の景観整備などを進めます。時間はかかりますが、構想し着手すれば進みます。将来は、川越や小布施のようなイメージが明確で魅力ある町並みを目指していきます。



●川口が誇るべき、安行、赤山地域の伝統産業である植木と一体となった自然景観と、観光受け入れ態勢の整備を進めます。



▶川口の歴史、文化、産業について一覧性を持って見て学んで、体験できる施設の建設。
▶市内の各地域間を相互に結ぶネットワークの整備を行ない、交流の活性化を図ります。
▶ハードだけでなく、ソフトウェアの面から、川口市民だけでなく市外の人に見てもらうための、川口の伝統芸能、神事、祭事、活力ある現在の芸能を集めた、新しい市民参加型イベントの創設に取り組みます。

観光地の開発・活性化には、素材を発掘し、魅力を磨き、情報を発信し、流通チャンネルに乗せる事が重要です。観光に従事する人材育成も欠かせません。

その事に、これまでの自分の企業人としての経験も活かしていきたいと考えています。

みんなの街のみんなの政治 永瀬秀樹



民間の風を市政に!
もっと?川口
川口の新しい都市づくり



プロフィール

【生まれ】昭和34年 川口生まれ
【家 族】両親、妻の4人家族
【学 歴】早稲田大学卒

【職歴等】

- 早大卒業後、(株)JTB(旧日本交通公社)に入社。
- 旅行営業、MICE営業、観光地域振興、広報、関連会社の経営等、幅広い業務を経験する。
- 世界各国をめぐる豊かな国際感覚を持つ。
- 全国各地の観光振興アドバイザー、旅行、イベント業界の各種委員を歴任。観光行政関連の会議等を通じ、観光立国政策への提言を行なう。
- 地方自治体、各地観光協会での講師や、シンポジウムのパネリストを務め、観光振興による地域活性化の一翼を担った。

あなたのご意見をお聞かせください。
活動スタッフ募集中!

永瀬秀樹後援会

〒332-0012 川口市本町1-6-10
Tel. 048-223-6050 Fax. 048-223-6170

がんばる

●この紙は再生紙を使っています

続きは
3号で